

Dr.わーだ一の養生記

vol.32

「タダより怖いものはない
自然治癒力」

こちいいん わだ とよふみ
心血医院 院長 和田 豊郁



自然治癒力。生まれつき持っている、病気やケガが治る力。薬にお金を使わなくてもタダで治る力?でも、その力は無条件にいつでも存分に発揮されるものなのではないでしょうか?病気のうち感染症など外敵が入ってきたことで起こるものでは、病原体を排除し、障害を受けた細胞をいったん壊して新しく作り直さなければなりません。病原体の排除は免疫細胞の役目です。普段から抗体を血中に出しています。見回りをしている免疫細胞は病原体や抗体がくっついた細胞を見つけると、こんなのが来た!と仲間知らせます。抗体を作る免疫細胞は急速に細胞分裂して大量の抗体を出します。殺し屋の免疫細胞も急速に細胞分裂して現場に向かいます。ウイルスは生体の細胞に入って増殖しますから細胞ごと活性酸素で殺し、その後始末にビタミンCが必要になります。急激な細胞分裂にはタンパク質と亜鉛とビタミンDが急に必要になるのでその供給がうまくいかないと自然治癒力は発揮できません。医食同源。栄養、大切。

■ 心血医院

久留米市日吉町14-68 / TEL.0942-65-5129

診療時間:〈月～土〉9:00～12:00、〈月火・木金〉19:00～22:00

休診日:日祝・盆・年末年始